

# 講習会の効率的な利用法

---

2017・09・06 生き生きクラブ定期講座



# 講習会に初めてご参加のかたへ

1. **NPO** が運営しています。**NPO** が提供しているサービスについてはパンフレットをご参照ください。
2. 講習会は週1回を目安に開催しています  
週によって曜日と時間（午前 **9:30**～**11:30** または午後 **13:30**～**16:00**）が異なりますのでご注意ください。
3. 開催時間の始まりから終わりまでいる必要はありません。ご都合に合わせてご利用頂けます。
4. 無料のセミナーです。

ただし、運営費捻出のため寄付をお願いしています。会議室ドア近くに貯金箱を置いています。

5. スマホ・タブレット以外でもご質問は受け付けます。たとえば、ノートパソコンなど。
6. 今後、講習会に参加された際は、まず参加者記入票にお名前をご記入ください。



スマホ・タブレットを使いこなせていない人が多い！

講習会を始めて約3年  
講師数よりも参加者数が圧倒的に多い、  
という状況です。

# 講師側の状況

それぞれ仕事（本業）があります  
仕事を休んで、手弁当で対応しています。

講習会に参加できない日もあるため、講師  
側の人数が毎回異なります。



# 最近の講習会の状況I

個別対応で時間がかかり、お待たせしてしまうことが増えてしまいました。

対策案1：講師数を増やす

平日昼間に、無償で参加してくれることは期待できないです（サラリーマンはまず無理）。

学生さんも平日は難しいケースが多いでしょう（探してはいます）。



# 最近の講習会の状況2

対策案2：個別対応の方法を変える  
時間で区切るのがひとつ。その他の改善はどうやる？

# 講師側からみた個別対応

- ・問題を丸投げされると対応に時間がかかる。

たとえば、年賀状作成ソフトで年賀状作りたいので  
使い方をイチから教えてください。

――> この対応だけで2時間取られます！

丸投げすると自分の中に残らない。また同じことを  
聞くことになる。



# 講師側からみた個別対応

- ・ こういうことがやりたくて、ここまで試したんだけど、ここからが分からない  
というようなストーリーがあれば対応しやすい。
- ・ **Apple ID** や **Google** の登録情報が分からない状態では、問題に対処しにくい  
まず、それらの情報を得ることが先決。



# 講師側からみた個別対応

- ・再現できない問題は対処しにくい  
メッセージなどは画面キャプチャで保存  
画面キャプチャって何？と思った人はまずそこから  
質問してください。

- ・聞きたいことを絞る  
対応中に話があっちに行ったりこっちに行ったり、  
本当に今知りたいことはなんですか？



# 講師側からみた個別対応

- ・周りの人をうまく利用する

参加者のスキルは様々です。あなたの抱えている問題は、隣の人に聞けば分かるかも？



# インターネットで調べる

あなたの疑問は、インターネットで検索すれば見つかります。

待ってる間に、検索してみてもは？

講師側にとっても、皆さんから頂く問題の半分くらいは未知のもので、結局、インターネットで調べつつ対応することになります。



# さいごに

このような無料講習会は、全国的にみても貴重だと自負しています。

ただし、円滑に運営を継続していくには、参加者の皆様のご協力が必須です。



次回：ショート講習 9/14

## 「無料アプリの選び方」



私達は川崎市市民活動助成金で活動しています。

NPO団体への寄付のご協力をお願い致します。